(様式4-a号)

令和　　年　　月　　日

熱海市長

齊藤　栄　宛

企業名（※1）

所在地

代表者氏名　　　　 　　　　　　　　　　　印

提案書類提出届

　「初島地区海底送配水管布設替事業」に関する実施方針および公告等に基づき、提案書類を別添のとおり提出します。

(担当者連絡先)(※1)

所属　職名

氏名

電話番号

ファクシミリ

電子メ-ルアドレス

|  |
| --- |
| 参　加　者　記　号 |
|  |

※1企業名、担当者連絡先等は1部のみ記載し、13部は参加者記号のみを記載すること。

(様式4-b号)

**提　案　書**

　　　　件　　名　　初島地区海底送配水管布設替事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　令和　　年　　月　　日

企　業　名(※1)

所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　　　　　　　　　　　印

|  |
| --- |
| 参　加　者　記　号 |
|  |

※1企業名、担当者連絡先等は1部のみ記載し、13部は参加者記号のみを記載すること。

（様式第4-1.1号）

1.企業情報

①実績

国内の水道事業体が発注する工事案件で、過去20年間で延長1.0km以上の海底送水管あるいは海底配水管の完成実績を記入してください。なお、元請契約、下請契約は問いません。発注者が企業の場合は、発注企業名称と水道事業体名称を記入してください。

注）記載実績は最大で15件までとして、下記様式を追加して作成してください。添付資料には、実績の内容が証明できるものを添付し、各実績との紐付けを明記してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実績1 | | |
| 工事名称 |  | |
| 発注者名称 |  | |
| 管路延長 | km |  |
| 工事期間 | 平成 ・ 令和 　　年　　月　　日 ～ 平成 ・ 令和 　　年　　月　　日 | |
| 添付書類 | 契約書、コリンズ実績登録、工事設計書、仕様書 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実績2 | | |
| 工事名称 |  | |
| 発注者名称 |  | |
| 管路延長 | km |  |
| 工事期間 | 平成 ・ 令和 　　年　　月　　日 ～ 平成 ・ 令和 　　年　　月　　日 | |
| 添付書類 | 契約書、コリンズ実績登録、工事設計書、仕様書 | |

以降、表を複写して実績を記入してください。（複数頁可）

（様式第4-1.2号）

1.企業情報

②保有ISO規格

保有するISO規格の認証登録番号、登録年月日および有効期限年月日を記入してください。

なお、登録がない場合は「なし」と記入してください。

注）ISO規格を保有している場合は、認証登録証の写しを添付してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ISO9001 | 認証登録番号： | |
| 登録年月日：令和　　年　　月　　日 | 有効期限年月日：令和　　年　　月　　日 |
| ISO14001 | 認証登録番号： | |
| 登録年月日：令和　　年　　月　　日 | 有効期限年月日：令和　　年　　月　　日 |

（様式第4-2.1号）

2.設計

①設計人員

設計に携わる管理技術者と業務代理人の氏名、保有資格（技術士）について記入してください。

なお、保有資格がない場合は「なし」と記入してください。

注）担当者の健康保険証の写し、担当者が保有している資格の証明書（登録証あるいは合格証）を添付してください。（下請負人契約の担当者の場合は、所属に企業名から記入してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 管理技術者 | 担当者氏名： |
| 所属： |
| 保有資格： |
| 登録番号・合格証番号： |
| 業務代理人 | 担当者氏名： |
| 所属： |
| 保有資格： |
| 登録番号・合格証番号： |

（様式第4-2.2号の1）

2.設計

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ②管種選定  （本書3枚以内、図面別途） |
| 内　容 | 以下の項目について、記述してください。  また、選定した管種の断面図、構成材料などを示してください。(別途添付可)  1．選定管種の埋設および露出環境における管材の物性（強度、変色、劣化）  2．選定管種の曲線施工：施工時の最小曲率半径、曲げ施工の容易性  3．本事業における管路の溶接・融着の有無とその箇所  4．衝撃および摩耗の耐性  5．海水および塩水の耐性 |

（様式第4-2.2号の2）

2.設計

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ②管種選定  （本書3枚以内、図面別途） |
| 内　容 | 6．選定管種の水理計算  1．計画した海底送配水管の延長(網代基点から初島基点)  ・添付する海底送配水管のルートを示す図面との整合を図ってください。  2．引用した水理公式  3．水理特性を示す設定係数（流速係数あるいは摩擦損失係数）と採用根拠  ・技術資料、文献等により設定係数のエビデンスを添付してください。  4．水理計算書  ・上記設計諸元に則った水理計算を示して下さい。 |

（様式第4-2.3号）

2.設計

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ③布設経路選定  （本書1枚以内、図面別途） |
| 内　容 | 等深線図、底質図に海底送配水管の計画線、施工延長を記入し、以下の項目について記述してください。  1．急勾配箇所の管路計画の要旨  ・急勾配における海底送配水管布設の留意点を記述して下さい。  2．岩礁箇所の管路計画の要旨  ・岩礁箇所における海底送配水管布設の留意点を記述して下さい。 |

（様式第4-2.4号）

2.設計

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ④布設方法  （本書2枚以内、図面別途） |
| 内　容 | ③で示した海底送配水管の計画ルート図に埋設（土被り）、露出（防護の有無）、布設方法の延長を記入してください。  また、防護の場合の詳細図、防護材について、説明をしてください。  なお、防護の方法がそれぞれの区間で異なる場合は、それらを個別で説明してください。  1．埋設区間の計画：埋設の理由、埋設深度  2．防護工の計画：防護の必要性、防護方法、防護使用材料  3．施工期間短縮の計画：留意点、工夫  4．流況の影響：海底送配水管布設に流況により想定される事象、およびその影響を最小限に抑制するための施工方法 |

（様式第4-2.5号）

2.設計

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑤防護内充填材  （本書1枚以内、図面別途） |
| 内　容 | 網代陸揚げ箇所の消波工指定区間における築堤マットと、海底送配水管との空隙を埋める充填材の詳細を、以下の項目について記述してください。  1．使用材料  ・土木汎用材料以外を使用する場合、カタログ等規格、性能、性質が分かる技術資料を添付してください。  2．環境への影響  ・使用材料により懸念される環境への影響があれば記述してください。  3．期待される効果  ・使用する材料により、いかなる効果が得られるか説明してください。 |

（様式第4-3.1号）

3.製作・施工

①製作環境

本事業に使用する海底送配水管の管材を製作する工場の環境について記入してください。

注）工場の検査工場登録通知書および管材製作工場の平面図、製作場所および製作環境が把握できる画像を添付してください。

　　また、ISO以外の品質管理基準、独自の品質管理体制等があれば、それを確認できる資料を添付してください。

|  |  |
| --- | --- |
| JWWA検査工場登録 | 管製作企業名： |
| 製作工場名： |
| 製作工場所在地： |
| 添付：検査工場登録通知書 |
| 製作環境 | 添付：工場内平面図（製作箇所を印により明示）、環境が分かる画像  　　　　ISO以外の品質管理基準等  　　　　検査体制等 |

（様式第4-3.2号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ②施工時期  （本書1枚以内、工程表別途） |
| 内　容 | 本事業の施工時期について、バーチャート（様式不問）に以下の条件を整理して示してください。  1．設定期間：令和5年4月～令和7年3月末  2．表記工種：  ア　設計：計画ルート、埋設方法、防護方法等の計画  イ　管製作：海底送配水管および付帯物の製作  ウ　工場検査：  エ　地元説明会等：工事により影響を受ける方々への説明会  オ　準備工：現地着手、地元調整、調査・測量  カ　布設工：海底送配水管布設工事、地上部接続施設工事  キ　消波工：網代陸揚部の指定区間工事  ク　通水試験  ケ　引き渡し  　※上記の項目のほか、回航等作業により周辺に影響がある事項について漏れなく記載してください。また、土曜日、日曜日の毎週の休工日のほかに連続して休工する期間もわかるように記載してください。 |

（様式第4-3.3号の1）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ③地元活用  （添付様式第4-3.3号の2および3参照） |
| 内　容 | 本事業に係る地元（施工対象地域、市内、県内）の関係者の活用状況を、以下の項目について記入してください。  1.下請負人：本事業の実施にあたり契約する下請負人  2.安全対策、監視等の人員：施工環境の安全を確保するための要員  3.資機材購入：本事業に使用する資機材の購入先  4.そのほかの地元の活用  ※企業や組織の場合、施工体制との関連付けが出来るように示してください。 |

（様式第4-3.3号の2）

1.下請負人

本事業の実施にあたり契約するすべての下請負人

　※下請負人が多い場合は、下表の欄を増やして記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 下  請  負  人 | 1 | 企業名： | 所在地： |
| 許可を受けた建設業： | 担当予定工事： |
| 2 | 企業名： | 所在地： |
| 許可を受けた建設業： | 担当予定工事： |
| 3 | 企業名： | 所在地： |
| 許可を受けた建設業： | 担当予定工事： |
| 4 | 企業名： | 所在地： |
| 許可を受けた建設業： | 担当予定工事： |
| 5 | 企業名： | 所在地： |
| 許可を受けた建設業： | 担当予定工事： |

2.安全対策、監視等の人員

施工箇所および施工周辺環境の安全を確保するための要員

※交通整理員、洋上監視等のすべての安全巡視要員について延べ動員数で記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 動員数概数：　　　　　　人・日 | 予定配置箇所： |
| 2 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 動員数概数：　　　　　　人・日 | 予定配置箇所： |
| 3 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 動員数概数：　　　　　　人・日 | 予定配置箇所： |
| 4 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 動員数概数：　　　　　　人・日 | 予定配置箇所： |
| 5 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 動員数概数：　　　　　　人・日 | 予定配置箇所： |

3.資機材購入：本事業に使用する資機材の購入先

本事業の資機材調達のために使用する商社等について記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 調達資機材名： | |
| 2 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 調達資機材名： | |
| 3 | 企業名・組織名： | 所在地： |
| 調達資機材名： | |

（様式第4-3.3号の3）

4.そのほかの地元の活用

本事業の実施に伴い、前項1，2，3以外で地元の活用、経済活性化につながる活動、取り組みがあれば、その内容を記述してください。（本書1枚以内）

※複数可

|  |  |
| --- | --- |
| 地元の活用 | |
| 1 |  |
| 2 |  |

（様式第4-3.4号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ④施工体制  （本書1枚以内、施工体制台帳および施工体系図別途任意様式） |
| 内　容 | 本事業にあたり、実施する体制を、施工体制台帳および施工体系図（安全管理体制明記）により説明してください。  ※工種毎の監理技術者、業務代理人、専任技術者の配置状況、保有資格を明示し、事業参加表明、地元活用との関連付けに留意して示してください。  1．施工体制（施工体制台帳および施工体系図：様式不問）  2．技術者配置（施工体制台帳および施工体系図：様式不問）  ３．安全管理体制（施工体系図：様式不問）  　安全管理体制においては、安全な施工を遂行するために実施する対策があれば記述してください。 |

（様式第4-3.5号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑤網代側ストックヤードの保全(借地箇所)  （本書1枚以内） |
| 内　容 | 本事業にあたり、網代側ストックヤードの保全を目的として実施する対策について記述してください。（借地利用する網代側ストックヤード内の仮設計画等を別途図面で示して説明してください。）  1．敷地内養生の方法  2．ヤード内の配置計画  ３．消波ブロック製作工程の工夫  借地箇所における用地内保全、安全確保等の観点で実施する消波ブロック製作工程の工夫を記述してください。 |

（様式第4-3.6号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑥海洋環境への配慮  （本書1枚以内） |
| 内　容 | 本事業にあたり、海洋環境への負荷を軽減することなどを目的として実施する対策について記述してください。（特殊な機材等を使用する場合は、そのカタログ、性能等のわかる技術資料を添付してください。）  1．自然生態系への配慮  　網代-初島間の海岸から海洋部の自然生態系に対して、本事業による影響を抑制するための対策を記述してください。  2．地元漁業権域への配慮  　施工区域およびその近傍の漁業権域において本事業による影響を抑制するための対策を記述してください。 |

（様式第4-3.7号の1）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑦地元調整  （本書2枚以内） |
| 内　容 | 本事業にあたり、地元、地域の関係者と行う調整について記述してください。  1．調整対象者、企業、組織等  本事業の遂行に当たり、許認可、事業周知等の調整を図る対象者、企業、組織等を記述してください。（※許認可申請機関を含む。）  2．調整内容  　前項で示した対象者、企業等に対して行う調整の内容の具体を記述してください。 |

（様式第4-3.7号の2）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑦地元調整  （本書2枚以内） |
| 内　容 | 3．調整の方法  　調整の対象者等との調整方法（協議、集会、回覧等）、時期および頻度を記述してください。 |

（様式第4-3.8号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑧新技術・特殊技術の採用  （本書1枚以内、添付資料別途任意様式） |
| 内　容 | 以下の項目について、記述してください。  1．確実な施工のための技術  　確実な施工（布設位置、埋設深さ、防護方法）を実施するために採用した新たな技術を記述してください。（新たな技術に使用する機材のカタログを添付してください。）  2．施工時の安全確保のための技術  　洋上、陸上問わず管路布設の施工期間における安全確保のために採用した新たな技術等を記述してください。 |

（様式第4-3.9号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑨精度管理・セルフモニタリング  （本書1枚以内、添付資料別途任意様式） |
| 内　容 | 以下の項目について、記述してください。  1．施工精度管理のための技術と工夫  精度の高い施工をコントロールするための技術と工夫について記述してください。（新たな技術に使用する機材のカタログを添付してください。）  2．定量的監理、目視・画像・動画等の管理方法  　セルフモニタリング等での管理（方法、頻度等）について記述してください。 |

（様式第4-3.10号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑩アフターフォロー  （本書1枚以内、添付図別途任意様式） |
| 内　容 | 以下の項目について、記述してください。  1．アフターフォローの実施箇所、実施区間  事業者として海底送配水管布設後のアフターフォローを実施する箇所、区間について記述してください。  2．アフターフォローの実施方法  　アフターフォローの実施方法について記述してください。  3．アフターフォローの実施期間、実施頻度  　・アフターフォローの開始時期  　・アフターフォローの実施頻度  　・アフターフォローの費用  （アフターフォローの費用は、事業者が推奨するアフターフォローを実施した場合の費用を年当たり、箇所当たり等で提示してください。見積書様式不問） |

（様式第4-3.11号）

3.製作・施工

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | ⑪本事業PR  （本書1枚以内、添付図別途可任意様式） |
| 内　容 | 以下の項目について、記述してください。  1．本事業のPRの内容  事業者として本事業の重要性等を外部発信する内容を記述してください。  2．本事業PRの方法等  　PRの対象、PRの方法、PRの頻度等について記述してください。 |

(様式第4-4.1号)　提案価格書

令和　　年　　月　　日

熱海市長

齊藤　栄　宛

企　業　名

所　在　地

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

提案価格書

件　　名　　「初島地区海底送配水管布設替事業」

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提案価格 |  |  | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（消費税及び地方消費税の額は含まない）

プロポーザル関係書類承諾の上、上記の金額を提案いたします。

注１）「提案価格内訳書」を必ず添付すること。

注２）金額はアラビア数字で表示し、頭書に￥の記号を記入すること。